

お知らせ

平成 18 年度前期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

物質構造科学研究所副所長 松下 正

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 平成 18 年 4 月～平成 18 年 9 月
2. 応募締切日 平成 17 年 12 月 16 日（金）
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4 判、様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先
〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所事務室
TEL：029-864-5635

* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当たり上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

平成 18 年度前期 共同利用実験課題公募について

実験企画調整担当 小林 克己 (KEK・PF)
宇佐美徳子 (KEK・PF)

平成 18 年度前期より S2 型、G 型、P 型の公募締切が同じになりましたので、ご留意下さい。

S2, G, P 型課題 平成 17 年 11 月 4 日（金）

P 型（予備実験・初心者実験）の申請に当たっては、実験ステーション担当者と技術的なことについて緊密に打ち合わせて下さい。

放射光共同利用実験申請書の書式が若干変更になりましたので、PF ホームページ (<http://pfwww.kek.jp/indexj.html>) よりダウンロードしてご使用下さい。不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

研究協力課共同利用係

Tel: 029-864-5126 Fax: 029-864-4602

Email: kyodo1@mail.kek.jp

実験企画調整担当者 小林 克己

Email: katsumi.kobayashi@kek.jp

PF-AR 共用自転車

放射光科学第一研究系 岡本 渉

PF-AR ユーザーのために自転車を 10 台用意しました。自転車には番号が割り振られており、ステーション担当者によって管理されております。

使用する際には、ステーション担当者から鍵を借りて、自転車置き場から乗り出してください。使用していない自転車は利用しても構いませんが、割当先の要求があれば、すぐ返せるように、使用者・連絡先を担当者に連絡しておいて下さい。

自転車置き場は PF-AR 北棟の前にある、元ガスボンベ保管庫です。使用後は、必ずこちらに戻し、鍵を担当者にお返し下さい。



入館カードシステム設置について

放射光科学第一研究系 野村昌治

機構では防犯・安全確保を目的として、研究棟等への入館カードシステムの導入工事を進めており、本年3月22日より主な建屋で運用しています。PFについては建物構造が複雑なこともあり、今年度整備を進めており、秋より運用の運びとなる予定です。

建屋1階のIDカードリーダー設置箇所は巻末の放射光科学研究施設平面図に示しました。この他、研究棟、実験準備棟2階に設置されます。その他の扉は電気錠、オートロック（閉めると自動施錠）、手動施錠で管理されます。

- IDカードリーダーや電気錠で管理された扉は平日および共同利用期間中の昼間は解錠し、自由に入出入り出来ます。それ以外の時間帯については施錠します。
- IDカードをお持ちでない方のために、研究棟1階のピロティ側入口に監視員と通話するための内線電話機とTVカメラを設置します。共同利用期間中はこれらの機器を使って監視員に所属、氏名を伝え、錠を開けてもらいます。
- 共同利用期間以外は訪問先の職員等を内線電話等で呼び出して、錠を開けてもらって下さい。
- 施錠期間中、いずれの扉からも外へ出ることは可能ですが、入館出来る場所はIDカード設置場所に限られます。また停電時は解錠され、緊急避難路を確保します。

AED 設置のお知らせ

KEK 衛生委員会委員 兵藤一行 (KEK・PF)

KEK 内に2台のAED (Automated External Defibrillator: 自動体外式除細動器) が導入され、1台はインフォメーションセンターに、もう1台はPF監視員室内に設置されましたのでお知らせいたします。この装置の導入に関連して、放射光運転当番業務に関わる職員、業務委託業者の約80名がKEK安全衛生推進室により開催された「除細動器を含めた1次救急処置に関する講習会」に参加しました。

AEDは、電気ショックが必要な心臓の状態(心室細動により心臓が血液を正常に送り出すことができない状態)を自動的に判断して、心室細動を正常な状態に戻す除細動(電気ショックを与える)を自動的に行う装置です。心室細動が生じた場合には、5分経過時で約50%の方の救命チャンスが失われるため早期の除細動が必要とされています。先ごろ、AEDが100台程度設置されている愛知万博会場で、一般人がAEDを使用して救命できたことが報道されており、AED使用を含めた1次救急処置が日本においても普及されつつある状況であることが認識されます。

KEK 一般公開のお知らせ

一般公開実行委員 兵藤一行 (KEK・PF)
野上隆史 (KEK・PF)

今年のKEK一般公開は、9月4日(日)に開催されます。機構内の多くの施設が公開される予定であり、PFでは、PFコントロール室(初めての公開)、PF実験ホールの一部、PF-AR NW 実験ホールを公開する予定です。KEK内のそれぞれの場所でそれぞれの担当者が工夫をこらして、加速器、実験機器、研究成果の展示や科学おもちゃの展示、実演などを行う予定です。また、おもしろ物理教室は放射光科学研究施設が担当し、「虹のタペストリー」というタイトルで参加者の方を幻想的な世界にご案内する予定です。小さいお子さんから一般の方まで楽しめるような企画が盛りだくさんですので、放射光ユーザーの皆様も、普段とは異なるKEKを楽しんでいただけたと思います。

ご家族、ご友人お誘い合わせのうえ、KEK一般公開にお越しいただきますよう職員一同心よりお待ち申し上げます。当日は、秋葉原からつくば駅(つくばセンター)まで結ぶ「つくばエクスプレス」が開通しており、つくばセンターとKEK間は無料送迎バスが運行されます。また、機構内の移動には無料巡回バスが約10分間隔で運行されます。

KEK一般公開に関する詳細は、
<http://www.kek.jp/openhouse/> をご参照ください。

1. 日時 2005年9月4日(日) 9:00-16:30
2. 主な公開施設

陽子シンクロトロン、東カウンターホール(FFAG)、北カウンターホール、ニュートリノ振動実験前置検出器、中性子・ミュオン研究施設、電子陽電子入射器棟、PF、PF-AR NW 実験ホール、Bファクトリー加速器、Bファクトリー-筑波実験棟及び展示室、アッセンブリホール(ILC計画、ATF)、超伝導・低温・真空実験棟、放射線科学センター、計算科学センター、機械工学センター、超伝導低温工学センター、研究本館(J-PARC, TRIAC, 国際共同実験)

3. 主な講演・企画

講演(3号館)

11:00-12:00「宇宙と素粒子」

戸塚洋二(KEK 機構長) [2004年文化勲章受章]

12:45-13:45「アインシュタインの夢と21世紀の物理」

北澤良久(KEK 教授)

14:00-15:00「放射光を用いた医用画像最前線—乳がん、

肺がんの早期発見に向けて」 安藤正海(KEK 教授)

企画

おもしろ物理教室「虹のタペストリー」(研究本館)、質問コーナー(研究本館)、ラジオを作ってみよう(4号館)、科学おもちゃであそぼう！(3号館)、声はどれだけ遠くまで届くか？(放射線科学センター東側屋外)、紙飛行機を作って滞空時間に挑戦しよう！(体育館)

平成17年6月28日

関係機関の長
殿
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 小間 篤(公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について(依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研05-4

1 公募人員

助手 1名 (任期なし)

本機構の教員の職名は、教授、助教授及び助手であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

2 研究(職務)内容

放射光科学研究施設ではPF、PF-ARに物性研究を主眼とした回折・散乱研究用ビームライン・実験装置を整備し、共同利用実験を行うとともに放射光を用いた構造物性研究を行っている。本公募では単結晶X線精密構造解析、X線粉末回折実験を用いた精密構造解析に基づいて物性研究を展開すると同時に、関連するビームライン、実験装置の高度化及びそれらを用いた共同利用研究を推進する人材を求めている。

3 公募締切

平成17年9月2日(金)

4 着任時期

採用決定後できるだけ早い時期

5 選考方法

原則として面接選考とする。

6 提出書類

- (1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。
- (2) 研 究 歴
- (3) 発表論文リスト ----- 和文と英文は別葉とすること。
- (4) 着任後の抱負
- (5) 論文別刷 ----- 主要なもの5編以内
- (6) 本人に関する推薦書または参考意見書

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、それぞれ別葉にすること。
なお、各葉に氏名を記入すること。

7 書類送付

送付先 〒305-0801
茨城県つくば市大穂1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課人事第二係

封筒の表に「教員公募関係」と朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

8 問い合わせ先

- (1) 研究内容等について
研究主幹 河田 洋(放射光科学第二研究系) TEL 029-864-5634(ダイヤル)
- (2) 提出書類について
総務部人事労務課人事第二係 TEL 029-864-5118(ダイヤル)

9 その他

本公募で採用された者は物質構造科学研究所内の澤博教授、若林裕助助手と密な連携をとって研究を展開する。

平成17年6月28日

関係機関の長
殿
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 小 間 篤(公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について(依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研05-5

1 公募人員

助手 1名 (任期なし)

本機構の教員の職名は、教授、助教授及び助手であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

2 研究(職務)内容

物質構造科学研究所放射光源研究系に所属し、現用の放射光源用電子蓄積リングのみならず本研究所が進める将来計画に必要な加速器制御、ビーム診断、挿入光源のいずれかの研究開発(複数にまたがって良い)に従事する。また、放射光源研究系が行う放射光用加速器の運転・維持・改良に従事する。

3 応募資格

応募時点で博士の学位を有するか、又は着任までに博士の学位の取得が望ましい。

4 公募締切

平成17年9月2日(金)

5 着任時期

採用決定後できるだけ早い時期

6 選考方法

原則として面接選考とする。

7 提出書類

(1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。

(2) 研 究 歴

(3) 発表論文リスト ----- 和文と英文は別葉とすること。

(4) 着任後の抱負

(5) 論文別刷 ----- 主要なもの5編以内

(6) 本人に関する推薦書または参考意見書

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、それぞれ別葉にすること。

なお、各葉に氏名を記入すること。

8 書類送付

送付先 〒305-0801

茨城県つくば市大穂1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

総務部人事労務課人事第二係

封筒の表に「教員公募関係」と朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

9 問い合わせ先

(1) 研究内容等について

研究主幹 春日 俊夫(放射光源研究系) TEL 029-864-5632(ダイヤル)

(2) 提出書類について

総務部人事労務課人事第二係 TEL 029-864-5118(ダイヤル)

予 定 一 覧

2005 年

- | | |
|-----------|--|
| 9月 1日 | 総合研究大学院大学 5 年一貫制博士課程選抜試験 (筆記) |
| 9月 2日 | 総合研究大学院大学 5 年一貫制博士課程選抜試験 (面接) |
| 9月 4日 | 高エネルギー加速器研究機構 一般公開 |
| 9月 5日 | 平成 17 年度 PF 懇談会講習会「放射光利用研究基礎講習会」 |
| 9月 8日～9日 | PF 研究会「放射光を用いた構造物性研究の現状と展開」 |
| 9月 30日 | PF-AR 平成 17 年度第二期ユーザー運転開始 |
| 10月 18日 | PF 平成 17 年度第二期ユーザー運転開始 |
| 11月 4日 | 平成 17 年度前期共同利用実験課題 (S2 型, G 型, P 型) 申請締切 |
| 11月 7日～9日 | The 5th NAREGI International Nano-Science Symposium
'Theories and Simulation Methods for Soft X-Ray Solid State Spectroscopy' (エポカルつくば) |
| 12月 16日 | 平成 17 年度前期フォトン・ファクトリー研究会公募締切 |
| 12月 19日 | PF-AR 平成 17 年度第二期ユーザー運転終了 |
| 12月 26日 | PF 平成 17 年度第二期ユーザー運転終了 |

2006 年

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 1月 7日～9日 | 第 19 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム (名古屋大学) |
| 1月 20日 | PF-AR 平成 17 年度第三期ユーザー運転開始 |
| 1月 23日 | PF 平成 17 年度第三期ユーザー運転開始 |
| 3月 20日 | PF, PF-AR 平成 17 年度第三期ユーザー運転終了 |

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。